

行政懇談会各地区でスタート

市内21地区で開催



▲住民と行政による意見交換（潮美台）

よりよいまちづくりをめざして地域住民と市の幹部職員が意見交換する、行政懇談会が各地区で始まりました。各地区の先頭を切って行われた潮美台地区では、五月十九日同公民館で、自治会を中心に各種団体から多くの方が出席。中田市長がスライドを使って行政報告を行った後、市四役や部長らとともに、地域に密接した貴重な意見交換が交

わされ、有意義な懇談会になりました。この懇談会は、市民と行政が地域の課題などをお互いに認識し、共に協力し合いながら住みよい魅力あるまちづくりをめざすことを目的として、新市発足後始めて実施するもので、市内全域を小学校区単位毎（市内二十一地区）を基本に、八月初旬にかけて開催する予定です。

若者サークルを立ち上げ

フロンティアアース
FRONTIERS

成人式の企画・運営を行う「成人式実行委員会」のOB・OGらを中心に、三月二十五日、若者グループ「FRONTIERS（＝開拓者たち）」が発足しました。五月十九日、同グループの初めての取り組みとして、ハット・ロビックス・エクササイズから五人の指導者を迎え「トランポ・ロビックス教室」を松帆活性化センターで開催し、グループメンバー十五人が参加しました。「トランポ・ロビックス」

とは、直径八十六センチのミニトランポリンの上で、エアロビクス・エクササイズをするというもの。参加者は一時間、さわやかな汗を流し、シェイプアップを図りました。同グループでは今後、今年度成人式実行委員会との引継ぎを兼ねた交流会や若者情報誌の発行、若者会議などを予定しています。



▲トランポ・ロビックスを楽しむ若者グループ

高齢者の交通事故防止を目指す

高齢者交通安全指導員研修



▲山本幸男氏による講演

全国的に増える高齢者の交通事故を防止するため、南あわじ市交通対策協議会では高齢者交通安全指導員制度が確立され、昨年度から指導員が活動しています。その研修会が五月十六日、榎列公民館で開かれました。指導員制度は、市老人会の各単位クラブから選出された二百三名が、南あわじ警察署長と交通対策協議会長から交通指導員に委嘱され、地域のリーダーとして交通安全活動

を積極的に推進しています。研修では、交通事故の現状が報告された後、講演として加古川刑務所篤志面接委員協議会長の山本幸男先生が、高齢者が気をつけなければならぬことなどを、ユーモアを交え、話されました。特に、「横断歩道を歩くときは立ち止まらないこと。信号は青でもすぐ黄になりそうであれば次の青まで待つこと。」を強調されていました。

障害者授産施設に福祉車両を贈呈

四月十六日、精神障害者小規模通所授産施設「きらら」で、福祉車両の贈呈式が行なわれ、社会福祉法人淡路島福祉会に、中田勝久市長から八人乗りのワゴン車が贈られました。

これは、昨年匿名の方と、山口貴干さん（八木）から贈られた寄付金三百万円で購入したもので、市が同福祉会に管理運営を委託している、「きらら」と知的障害者通所授産

施設「ウインズ」の利用者の送迎などに使われます。この日、同席した山口さんや利用者が見守る中、中田市長から同福祉会の山野専務理事に目録を、また山口さんも利用者の代表に車の鍵を手渡しました。

ワゴン車は、足の不自由な人にも乗り降りしやすいように、地面の近くまで下がる座席が設置されています。



▲福祉車両の鍵を手渡す山口さん（右）

寄付金三百万円で購入

南海地震発生確率53%

防災ひとロケ

防災課 43-5006

南あわじ市防災ネット
http://bosai.net/minamiawaji/

政府の地震調査研究推進本部は、4月18日、30年以内に東南海地震が64%、南海地震が53%の確率で発生すると公表しました。



大雨災害が同0.5%であるのに対し、地震発生確率が、どれだけがわかっていただけかと思

住宅の耐震化

東南海・南海地震の発生により、市内では最大震度6弱の揺れが予想されています。大地震から身を守るためには、住宅の耐震化がいちばん大切なことです。

特に、昭和56年5月末以前に着工された住宅は、現在の耐震基準を満たしていない恐れがあります。南あわじ市では、「簡易耐震診断」を個人負担3千円（木造戸建住宅の場合）で受けることができます。制度の案内

については、14頁をご覧ください。さらに、兵庫県では昭和56年5月末以前に着工した住宅で耐震診断の結果、耐震性が劣ると判断されたものに、耐震改修計画策定費、耐震改修工事費に最大で総額80万円の補助金が受けられます。（※一定の条件あり）

フエニックス共済の加入

万が一、大地震をはじめとする自然災害で住宅を失った場合に備えて、兵庫県住宅再建共済（フエニックス共済）では、年間5千円の負担で、最大6百万円が給付されます。地震保険や他の共済に加えて加入できます。

事前の備え「住宅の耐震化」と事後の備え「住宅の再建」について、ぜひ、家族で相談してみてください。■住宅耐震化について■都市計画課 ☎37・3016、フエニックス共済について ■防災課 ☎43・5006

故・山崎萬米さんの見台、床本を寄贈



▲山崎さん（左）寄贈の見台と床本

素人義太夫として活躍された故山崎萬米（芸名米花）さんが使っていた貴重な遺品が五月二日、長女山崎武子さんと孫敏男さん（俊文）から、淡路人形協会（理事長、中田勝久市長）に寄贈されました。

萬米さんは、十六歳頃から浄瑠璃を始め、昭和三十六年淡路素義審査競演大会で第五代横綱に輝きました。遺品は、人形浄瑠璃の太夫が語るとき使う黒の漆塗りに金の時絵がほどこされた見台と、「絵本太功記十段目尼ヶ

貴重な「寄付ありが」といっていました

◆沼田茂子（市）さん

五月十一日、沼田茂子さんが、南あわじ市役所で中田勝久市長に、現金五十万円を寄付されました。これは、沼田さんが年金の中から節約して貯めたお金で、文化財保護活動に役立ててくださいと、申し出られたものです。

◆福良不動産

五月一日、福良不動産代表の内海信太郎さんが、緑庁舎を訪れ、「福祉に役立ててください」と現金十万円を寄付されました。市ではこれら貴重な寄付を有効に活用させていただきます。ありがとうございます。